

公の施設の指定管理者における業務状況評価

平成20年8月13日

施設名	塩見記念青少年プラザ	所管課名	教育委員会生涯学習課
-----	------------	------	------------

1 施設の概要

指定管理者名	青少年育成高知県民会議
指定期間	平成18年4月1日～21年3月31日
施設所在地	高知市小津町6番4号
業務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の運営に関すること ・施設及び設備の維持管理に関すること ・青少年プラザ事業を計画し、実施すること <p><平成19年度主催事業></p> <ul style="list-style-type: none"> 囲碁大会 将棋大会 パソコン教室3回 (ワードエクセルのスキルアップ、楽しく学ぶ教室、楽しくレベルアップ教室) 高知城英語ガイド講座 ブレイクダンス講座 ヒップホップダンス講座 エレキギターレッスン講座 よさこい納涼花火大会観覧&コンサート アイロンビーズ&クリスマスコンサート フラメンコ体験教室 小学生向け事業(海の木クラフト教室、電気のふしぎ科学教室、山の木クラフト教室) 青少年運営委員会(Begin祭)
施設内容	<p>バンド、演劇、ダンスなど青少年の自主的な活動の交流や発表の場所、仲間づくりや情報交換、交流活動の場として利用していただいています。</p> <p>利用開始日:平成16年8月1日 延べ床面積:1086.83㎡ 建築物:鉄筋コンクリート5階建</p> <ul style="list-style-type: none"> トークサロン まんが図書室 学習室(個人用) 個人ブース12席、車椅子用1席 学習室(グループ用) 15席 多目的室 椅子100席、机60席 音楽スタジオ
職員体制	職員:5名 パート職員:4名 合計:9名

2 収支の状況

		18年度(決算)	19年度(決算)	20年度(予算)
収入	県支出金	15,876,673	15,871,273	15,980,000
	事業費収入	192,000	216,300	311,000
	使用料	1,082,790	1,074,840	1,074,840
	収入計 (a)	17,151,463	17,162,413	17,365,840
支出	事業費	999,537	835,644	1,111,000
	管理運営費	7,014,865	7,302,017	7,044,000
	人件費	8,054,271	7,949,912	8,136,000
	支出計 (b)	16,068,673	16,087,573	16,291,000

3 利用実績

3 利用実績

(1) 利用者数合計 ※(2)～(5)の計

	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平均(17～19年度)
人数	12,402	24,803	25,295	27,958	26,019

(2) 音楽室利用者数

	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平均(17～19年度)
人数	2,310	4,147	3,690	3,969	3,935

(3) 多目的室利用者数

	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平均(17～19年度)
人数	2,815	4,820	4,669	5,476	4,988

(4) 学習室(団体)利用者数

	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平均(17～19年度)
人数	764	1,118	964	919	1,000

(5) 学習室(個人)・トークサロン・まんが図書室利用者数

	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平均(17～19年度)
人数	6,513	14,718	15,972	17,594	16,095

開館日数	198日	303日	305日	307日
------	------	------	------	------

4 業務の評価

項目	状況説明
①利用拡大のための取り組み	<p>利用拡大のために、以下の点で工夫が見られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○中高校生の利用が多く、青少年向けのダンス・音楽を中心に主催事業を開催している。特に、自宅練習が困難なものを安価で短期間で行うプログラムにし、初心者や子供たちが参加しやすいように配慮している。(例：ブレイクダンス教室、やさしいドラム演奏教室) ○定期的に学校を訪問し施設利用の広報を行うとともに、学校の担当者と意見交換を行い、先生、生徒の希望するテーマやおすすめの講師の紹介などをうかがっている。また、学校の長期休みの時期には、小中学生対象の主催事業を計画し学校に案内している。 ○主催事業の「クリスマスコンサート」「ニューイヤーコンサート」は地域社会との連携・融合を図るために、周辺町内会にも参加案内を行っている。開催当日は青少年委員会のメンバーも参加し、準備や来場者の案内、進行を担当し地域の方との親交が深まった。 <p>(利用拡大に向けての今後の取り組み)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○青少年からの悩みに対する相談窓口としての役割を担えるよう、相談機関情報の提供や出張相談の場を設けるなど相談機関との連携に取り組むことを指定管理者が当初からの目標としていたが、課題が大きく実現していない。相談機関に限らず他機関と連携することで、青少年の居場所としての施設の活動に広がりが出ると考えられるので、例えば「まんが図書室」があることから、県立図書館と共同で事業を企画することなどに取り組んでみてはどうか。

<p>②利用者へのサービス向上のための改善策</p>	<p>利用者へのサービス向上のために、以下の点で工夫が見られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○主催事業は終了後にアンケートを行い、その内容を参考にして次回の内容づくりに活かしている。夏休み講座は毎回応募者が多いので、ボランティアの活用や、職員の増員により円滑に事業を進めることに努めている。 ○青少年育成国民会議等が主催している青少年育成指導員やアドバイザーの研修に職員を参加させ資質向上に努めている。 <p>また、青少年の実状を知る機会として、指定管理者である青少年育成高知県民会議が取り組んでいる”少年の主張””家庭の日”の事業に職員を参加させている。そのほか社会を明るくする運動等の警察、学校関係、青少年育成の会合にも職員を積極的に出席させている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○事件、事故、災害に区分した危機管理マニュアルの内容を館内職員に徹底した。また消防署隊員の指導のもと、避難訓練やAEDの操作実習を行い、緊急時に対応できるように努めている。 <p>(昨年度からの課題)</p> <p>施設利用者を対象にしたアンケート調査項目の工夫と集計分析は昨年度からの課題である。利用者のほとんどが常連の中高校生であり、現在のアンケートでは要望欄にはマンガ雑誌の購入要請しか書かれない。新たな様式での実施に向けて検討を行ったが、実施に至らなかった。引き続き検討が必要がある。</p>
<p>③施設の運営について</p>	<p>施設の運営について、以下の点で工夫が見られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○各職務の責任職員を決め利用者により喜ばれるプログラムを実施できるよう努力した。職員・パートが変則勤務のため、連絡事項や引き継ぎ事項は必ず文書により伝達し情報共有を徹底している。 ○休館日に、年2回程度職員全員参加で青少年育成関連施設の見学や団体関係者との懇親会などを折り込んだ小旅行を実施し、職員間のコミュニケーションの醸成を行っている。 ○飲食及び喫煙の禁止、貴重品の自己管理を促す文書などを掲示しルールの徹底を図っている。また、利用者の退館の際に”忘れ物がないよう”の注意喚起の声がけも励行している。 ○口頭での説明や、使用直後にチェックを行うなど、備品の整理整頓を徹底している。 ○利用者の中から数人の方が世話人となって青少年プラザを活動拠点としたボランティア団体を立ち上げる計画がある。将来的には発表会の開催を目標としており、高齢者・身障者も含めて音楽、舞踊を体験できる事業を計画している。
<p>④利用実績</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○施設全体の利用者数は年々増加している。特に、学習室(個人)・トークサロン・まんが図の利用者が前年度より大きく増加しており、全体の利用者数も2,663人の増となった。増加している原因は、学習室(個人)を自習で利用する中高生が増加していることである。

⑤収支の状況	○平成18年度と比較して、使用料収入は昨年度とほぼ同じであった。管理代行料の支出についても平成18年度は16,069千円、平成19年度は16,088千円とほぼ同じであった。昨年度より、人件費は104千円、事業費は164千円の縮減となったが、管理運営費は287千円の増額となった。これは庭木の剪定など委託経費の支出が例年以上に多かったことが大きな理由である。
総合評価	<div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-right: 10px;">B</div> <div style="border-left: 1px solid black; padding-left: 10px;"> <p>事業計画のとおり管理運営されており、利用者も年々増加している。職員が青少年の自主的な活動や交流活動の支援に努めていることは評価できる。</p> <p>しかし、昨年度からの課題である相談機関との連携については実現できていない、平成20年度に取り組みが必要がある。</p> </div> </div>

【評価の目安】

- A: 仕様書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われたもの
- B: おおむね仕様書の内容とおりの成果があり、適正な管理が行われたもの
- C: 仕様書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫・努力が必要なもの
- D: 管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善を要するもの